

松下幸之助翁の私塾で学ぶ。茅ヶ崎へ。



↑古山塾頭による講義

世界の幸之助翁を感じる1日。 茅ヶ崎の松下政経塾で1日留学！！

昨年に続き、2期生も松下政経塾で学ばせていただいた。1日留学とでもいえよう。松下電器(現パナソニック)の創業者である松下幸之助翁が日本を憂い、日本の真のリーダーを創るため、84歳で政経塾を創られた。今年で31年目。すでに国会議員、地方議員など多くの政治家を排出させている。こちらの塾の方針は、特定の先生がいなく、自修自得の精神で自らが学ばなければならない。そのため、学びに専念させるために、住む部屋を提供され、さらに月給まであり、また活動支援金まで出る。半端な覚悟では入塾できず、そのハードルは高いが、明日のリーダーが続々と旅立ってゆく。それとは対照的な日本ベンチャー大学は、誰でも入学でき、自給自足の雑食軍団。あえて言えば、志は、同じくらい…。もしかして、とても過酷な環境であるから、別の意味でハードルは高いかもしれない。いずれにせよ、日本のリーダーたちが育った学び舎で、貴重な体験させていただいたことに改めて深く感謝する、雑食軍団であった…。



松下政経塾塾主である松下幸之助翁の銅像。
気合を入れて、2期生たちは記念写真に望む。

**自給自足の
雑食軍団です！**



松下政経塾の正門
鐘がシンボル



土谷副塾頭による
施設の案内

政経塾の敷地内 を見学する

←施設を案内していただく。松下幸之助翁の私産と企業からの寄付を合わせて120億円で創られた財団法人である。



↑幸之助先生直筆の「素直」が掲げられる。
生涯この言葉を大事にされた



↑離れの部屋や茶室などがある



↑ホールには大きな幸之助翁の肖像写真が掲げられる。まるで、ここにはまだ魂が生きているように感じるかのようだった。



↑日本ベンチャー大学の創設者・山近義幸
理事長代行の挨拶